

公益社団法人 日本山岳会 120 周年&越後支部 80 周年記念事業

鳥井峠(280m)～惣座峠(355m)を歩く。



惣座峠で記念撮影

日 時 令和 5 年 11 月 22 日(水)

参加者 L 田邊信行(記録)、遠藤俊一、多田政雄、遠藤家之進正和、渡辺 茂

地 図 国土地理院 1/2500 徳沢

はじめに 越後・阿賀町の八ツ田集落と会津・西会津町の宝川集落の境界に位置する鳥井峠とその先の惣座峠について調査した。

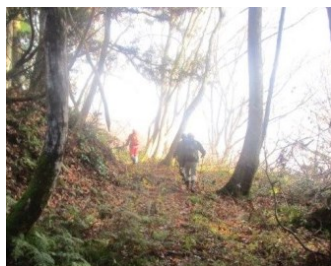
昔この峠を吉田松陰やイギリス人のイザベラ・バードが通ったり、レルヒ少佐もこの峠に立ったとか。

行 動 阿賀町役場駐車場で待合わせ、9時には5人揃ったので、国道 49 号線を出発。惣座峠下山口に車を置き、鳥井峠入口へ移動し、鳥井峠へ向けて舗装道路を歩き出す。直ぐ砂利道となり道には草が生い茂がり、



鳥井峠入口

藪を作っているが歩き易くて、緩やかなカーブと登りが繰り返されている。峠に至る途中から道路を離れ古道へ向かい、草や雑木の藪と杉などの倒木を跨ぎながら進むと、道はなくなり右手に峠の看板が見えている。木の枝に掴まりながら崖



鳥井峠への古道を歩く

「鳥井峠」に至る。峠には一枚の道路標識が天高くつり下げられている。表示は「平

169.9km 野沢 17.0km 福島県」と三段に記されている福島県設置の道路標識看板。



道路標識

歩き始めて直ぐ右手に石柱「馬頭観世音」明治 39 年旧 7 月 21 日施主山口善一と刻されている。



馬頭観世音

また直ぐに八ツ田集落が見えてきて、農婦から「熊に気をつけなせ」と忠告あり、我々は鳴り物・笛・鈴・ラジオ持参してきていた。現在の集落は 19 軒。高台の八ツ田集落から下を見ると国道 49 号線の車の騒音が聞こえる。

高台から北側方向を振り向くと、好天のなか、真っ白い大日岳と飯豊山が見えている。今、鳥居(神社入口等に立つ門)はないが、きっと過去に鳥居があったのでこの辺りから見上げると信仰登山の対象の綺麗な飯豊連峰が見えていて鳥井峠(井を使う訳不明)といていたのではないか。



八ツ田集落と飯豊連峰

高台から右手の坂を下りると国道 49 号線、真っ直ぐ坂を登ると惣座峠への径、その左手に熊野神社があり、神社への石段は相当な急勾配で苔むし、登りより下りが怖そうな石段が天空まで続いているかのようである。いよいよ坂道に掛かるその入口に木柱が左右にあり、左に「飯豊山」右に「鳥井〇」と彫られた標柱があった。これが鳥居跡なのかなとも思う。堤・用水池へ向かう坂道の右手に石碑があったが何の為なのか不明だ、先に行く古い径のようだ、藪が強そうで、下の良い径に行く。



左 飯豊山

右 鳥井



上 八ツ田の堤

水を湛えた堤を広葉樹や針葉樹が囲み堤のなかに取水塔が設置され、鉄製の手摺りが廻されていた。「八ツ田部落」「昭和 11 年」の石柱があった。

堤を回り堤尻から右に緩く上がると旧道が出てくる。惣座峠への古道である。



惣座への古道

古道を下りに掛かるとジクジクとして靴が埋まる径があり、この先も水がたっぷりの径となるため長靴推奨は成功。そして国道 49 号に出て国道を横切り、古道に入る土手から小川まで 30m 位、綺麗に刈払いがされていた。刈払いの人に感謝である。小川へ 1.5m 位降り川巾約 2.5m 位の浅い川を石伝いに渡り対岸へ上がる。



小川を渡り対岸へ

古道を西に向けて藪歩きして舗装道路に出たが、ここの土手も藪刈されていた。少し行くと広い場所に出た、朝早くから動いているのでここで昼食とする。

昼食後出発。明るい広場から 80m 緩やかに左カーブしながら登り、薄暗い杉林の切り通しに至る。左斜面に「福取の一里塚」の標柱あり、道路を挟んだ反対側にもう一基あり、2 基 1 対の一里塚である。塚には植林の杉が植え込んであり、雑木が生えている。「福取一里塚」の説明看板が昭和 51 年 3 月 2 日津川町教育委員会により設置されていた。会津藩が寛文 7 年(1667)に築いたのではと記されていた。





福取の一里塚



福取集落と福取岳

ゆっくり歩いて間もなく福取集落に至る。現在 11 軒の集落の由。集落を過ぎ登って行くと杉と雑木の暗い峠に至った。ここが惣座峠。記念撮影。

峠を緩やかに下ると直ぐ道は背丈より高いススキなどが濃密に生え、先が全然見えない道であった、足元は水が流れており、足元に蔦や雑木の根が蔓延し、足を掬う道、かつ、長距離でこれを抜けるのが大変であった。行く途中右斜面に古い石積みやコンクリートによる土留めの擁壁が何カ所か施工されていた。



草ぼうぼうの車道 石組み擁壁

漸く濃密な藪から抜け、電波塔のある砂利道の道路に出る。



濃密藪から抜ける

急げないゆっくりペースの調査行動であった。電波塔から藪が無くなりゆっくり下り、惣座峠出口駐車場に到着し、衣服についた草の実を体から払い落とし、鳥井峠入口へ車を取りに行く。戻り、皆で元気に「お疲れ様」の挨拶をし、解散となった。

### まとめ

当初実施計画日は 11 月 11 日雨予報で、藪漕ぎのため、11 月 22 日の晴れ予想日に変更。当日朝は濃霧発生で好天気が予想された。

鳥井峠入口から歩き始め、途中から道路を離れ峠道らしい所を歩き、鳥井峠に至った。次に八ツ田集落通過し、八ツ田堤奥から惣座峠へ向けて前進。可成り良い藪道を進み行き止まりから右の村道へ出て福取の一里塚・一対を見て、福取集落を通過し、惣座峠に至り、ススキの生い茂る藪道を掻き分け進み下山口に至った。好天に恵まれ事故もなく調査行動が出来たことを喜んでいる。